



2017年6月17日(土)～7月23日(日) 会期中無休
午前9時より午後5時まで(入場は午後4時30分まで)

※展覧会初日は午前10時より挙行の開展式・テープカット終了後に開場します。

※展覧会初日の開展式にて、高崎元宏トリオによる記念ミニ・ジャズ・ライブを行います。

メンバー：高崎元宏(ピアノ)、高崎元尚氏ご子息)、大村太一郎(ベース)、吉川英治(ドラム)

※本展会場内の作品はすべて写真撮影OKです。

主催 高知県立美術館

後援 高知県教育委員会・高知市教育委員会・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・

KSSさんさんテレビ・NHK高知放送局・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知・高知シティFM放送

助成 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

観覧料等 一般前売720円/一般900円(720円)/大学生600円(480円)/高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体割引料金 ※年間観覧券所持者(2,580円)は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)、

高知県及び高知市の長寿手帳所持者は無料

作品図版：高崎元尚《COLLAPSE》1995年 撮影：都築憲司

高知県立美術館

THE MUSEUM OF ART, KOCHI

〒781-8123 高知市高須353-2 TEL088・866・8000 FAX088・866・8008

<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/museum>

— 破壊 COLLAPSE —
MOTONAO TAKASAKI 2017 COLLAPSE

高崎元尚
新作展

高崎元尚新作展

— 破壊 COLLAPSE — MOTONAO TAKASAKI 2017 COLLAPSE

年齢94を超えてもなお創作に挑み続けている美術作家・高崎元尚の全点新作による展覧会を開催します。

高崎元尚は、1923(大正12)年1月6日、高知県香美郡香北町(現香美市)の生まれ。第二次大戦を経て1949年、東京美術学校(現東京藝術大学)彫刻科を卒業。帰郷後は母校・土佐高校にて教鞭を執りながら、当初はモダンアート協会展へ出品を続けます。1958年には「抽象絵画の展開展(東京国立近代美術館)」に出品。この頃にアクション・ペインティングから一転、ミニマルな平面シリーズ(装置)へと作風が転換します。1962年には前衛土佐派の結成に参加しますが、第3回展を最後に脱退。

1966年にアメリカ・ニューヨークで開催された「ジャパン・アート・フェスティバル」展への出品を通じて具体美術協会のリーダー・ナウ「展(兵庫県立近代美術館)」に破壊コンクリートブロックを敷き詰めたインスタレーションを展開し、埼玉県立近代美術館等数多くの展覧会に作品がセレクトされます。1995年に当館で開催した「クルの時代」展では、ブロック千個を破壊した作品「COLLAPSE」を発表し大きな話題を集めました。高知県内での「モダンアート研究会」や「現代美術の実験」展シリーズ等活動の功績により、1996年に高知県文化賞を受賞。2013年、アメリカ・グッゲンハイム美術館で開催された展覧会「Gutai: Splendid Playground」に作品(装置)を出品。2016年には故郷・香美市立美術館にて回顧展「高崎元尚展—誰もやらなことをやる—」を開催し注目を集めたばかりです。

本展覧会は「装置」と並ぶ高崎元尚の代表シリーズである「破壊」を一堂にまとめてご覧いただける貴重な機会です。ぜひ鑑賞くださいませ。



展覧会記念講演会 当館1階講義室[聴講無料、定員50名(先着)]

高崎元尚と具体美術協会

6月25日(日) 午後2時~4時(午後1時30分開場)

平井章一氏(京都国立近代美術館主任研究員)

有識者による講演会 当館1階講義室[聴講無料、定員50名(先着)]

高崎元尚の生徒としての私

7月16日(日) 午後2時~4時(午後1時30分開場)

都築房子氏(香美市立美術館長、美術作家)

ワークショップ① 作品探検ツアー[小学生対象:各回先着5名(電話申込制)]

①7月9日(日) 午前10時30分~ ②7月15日(土) 午前10時30分~

申込方法:6月19日(月)午前9時より受付開始。お電話でお申込みください(TEL:088-866-8000)。

学芸員のアシストのもと、コンクリートブロックや鉄パイプなどで構成される高崎元尚の「破壊」を、触れてみたり、踏んでみたり、歩いてみたりと文字通り「探検」します。五感すべてを使って作品を体験する子ども向けのワークショップです。参加費無料(要観覧券)。当館1階総合案内前に集合。

ワークショップ② 「密着」作品を作ろう! [小学生対象:各回先着20名(電話申込制)]

7月17日(月・祝) 午後2時~(午後3時30分終了予定)

申込方法:6月19日(月)午前9時より受付開始。お電話でお申込みください(TEL:088-866-8000)。

凹凸のある壁や床に鉛板を木ヅチで叩きつける高崎元尚の「密着」を体験し、自分だけの作品を作り出します(制作した作品は、展覧会会期中は当館で展示、会期終了後に撤収いたしますのでご了承ください)。参加費無料(要観覧券)。当館2階第1会場前に集合後、はじめに学芸員と会場で作品を鑑賞し、その後に当館創作室および屋外で作品制作を行います。汚れてもよい動きやすい服装でお越しください。制作時にはハサミ・木ヅチを使用します。

英語訳付ミニギャラリートーク—6月18日(日) 午後2時~ 集合場所:本展第1会場(要観覧券)

英語訳付:ナオミ・ロング氏(高知県国際交流員)

Curator's talk with English translation

Date: Sunday, June 18 2:00pm-2:40pm Venue: Exhibition room 2,3 Free with museum admission; reservations are not necessary.

担当学芸員によるギャラリートーク—7月2日(日) 午後2時~ 集合場所:本展第1会場(要観覧券)

手話訳付ミニギャラリートーク—7月9日(日) 午後2時~ 集合場所:本展第1会場(要観覧券)

手話訳付協力:一般社団法人高知県聴覚障害者協会

有資格者による無料託児サービス—6月22日(木)~6月25日(日) 無料(要観覧券)

各日10:00~12:00、13:30~15:30、各回定員10名。午前午後連続のご利用はご遠慮ください。

まずお電話で仮予約の上、申込書を6月15日(木)までにお送りください。



本展覧会はずべて新作を展示いたします。1.《現代美術の崩壊》1975年 個展(ギャラリー16/京都) 2.《LANDSCAPE》1982年 個展(ギャラリー16/京都) 3.《密着》1969年 第23回高知県展(県民ホール/高知) 4.ハンマーで波型スレートを破壊する高崎元尚(右端)1982年 第34回高知市展(旧高知県立郷土文化会館) 5.《崩壊 COLLAPSE》1995年 クルの時代展(高知県立美術館) 6.《コンクリートブロック発射台》高崎元尚による破壊のパフォーマンス 1981年 第33回高知市展(旧高知県立郷土文化会館)

前売券販売所

高知県立美術館ミュージアムショップ/高新プレイガイド/高知市文化プラザミュージアムショップ 高知大丸プレイガイド/サニーマート(一部店舗を除く)/高知県庁生協売店/こうち生活協同組合/ホームセンターマルニエローハット(高知県南国店のみ)/アシストファーム・ホームセンターハマト(一部店舗を除く) 金高堂書店本店/ローソンチケット(Lコード61554、※ローソンチケットのみ県外店舗でも販売しています)

高知県立美術館へのアクセス

■はりまや橋からとさでん交通路面電車「ごめん」線石通または「文珠通」行きで15分、「県立美術館通」下車徒歩5分 ■とさでん交通バス「医大病院線」・「県立美術館前」下車すぐ、「高知県立大学・医療センター線」・「美術館通」下車徒歩5分 ■車・タクシーをご利用の場合はJR高知駅から20分、高知龍馬空港からは30分、高知自動車道南国インターから15分、高知インターから10分(無料駐車場は普通車144台、バス専用10台) ■高知龍馬空港からは、高知市内一空港間を結ぶ連絡バスもご利用いただけます。バス停「葛島」で下車してください。徒歩約15分。

